



家族の安否、位置情報を確認

テンフィートライト（東京都中央区）が提供する災害時ICTサービス『ゆいぼた』が実績を積み重ねている。2015年3月のサービス開始以来、導入されたマンション

緊急地震速報を検知

気象庁 緊急地震速報発令

検知

緊急地震速報を検知

災害モード

設定震度以上の緊急地震速報を受信すると災害モードに切り替わる

災害時 ICT サービス『ゆいぼた』

は1000棟を超えた。家族の安否確認という「自助」に加え、他の住民と助け合う「共助」も支援し、多発する災害の備えとして注目される。ゆいぼたは、ウェアラブルから閲覧できるサービス

テンフィートライト

で、通常モードと災害モードで構成する。日常的にはマンションの防災マニュアルや備蓄品などを確認できる通常モードが表示されるが、設定した震度以上の緊急地震速報を受信すると災害モードに自動で切り替わる。災害モードに

導入マンションは1000棟超える

なると安否確認メールが送信され、自身の安否状況の登録や家族の安否、位置情報などが確認できる。

安否未登録者や要救助者の情報はマンション住民で共有でき、迅速な救助につながる。住民間の連絡手段として部屋番号宛にメッセージの送信も可能だ。家族に救助が必要な場合に外出していても、近所の住民に助けを求められる。

管理組合の管理者から住民へ連絡する機能や住民向けに掲示板なども備える。同じマンションの住民からの確実な情報が入手できる。これまで管理組合との契約が一般的だったが管理会社が管理受託するマンションにゆいぼたを提供するケースも増えている。